

第64回自衛隊記念日レセプションにおけるスピーチ（2018年7月6日）

●国防省人民軍副総参謀長ファム・ホン・フオン上将をはじめ、ご列席の皆様。
本日は自衛隊記念日レセプションにご参加いただき、ありがとうございます。

● 私は、世界有数の親日国であり、かつ、発展のエネルギーに満ちたこの時代のベトナムに勤務できることを非常に幸運と考えています。その理由をご説明します。

● 第一に、昨年来、間断なき要人往来を通じ、日越指導者間の相互信頼関係は格段と深化しています。昨年、天皇・皇后両陛下の初のベトナムご訪問、安倍総理とフック首相の相互訪問、APEC首脳会議への安倍総理出席、TPP閣僚会議での日越共同議長等がありました。

● 今年2018年、日越両国は外交関係樹立45周年を迎え、一年を通じ多くの記念行事が日越両国で開催されています。先般、チャン・ダイ・クアン国家主席夫妻が国賓として訪日されました。また、今年前半、ビン筆頭副首相、リック国防大臣など計12名の閣僚が訪日されています。

● また、指導者のみならず、国民レベルでの交流も増大しています。例えば、この6年間にベトナムに住む日本人は倍増、日本に住むベトナム人は約6倍となりました。

●日越関係は、「広範な戦略的パートナーシップ」の下、政治、安全保障、経済及び文化等、あらゆる分野で飛躍的に深化・拡大しつつあります。日本は、ベトナムの持続的発展が、地域の安定と繁栄にとって非常に重要と認識し、連携強化に勤めています。

●今年4月のゴー・スアン・リック国防大臣の訪日は、7年ぶりのベトナム国防大臣の訪日でした。小野寺防衛大臣との防衛相会談では、今後10年間の日越防衛交流・協力強化が明記された「日越共同ビジョン声明」が署名されました。また、5月末のチャン・ダイ・クアン国家主席と安倍総理の首脳会談においても、日越両国は多くの戦略的利益を共有するパートナーとして、国防・安全保障分野において、より緊密に連携することを確認致しました。

●日本は「国際協調主義に基づく積極的平和主義」という外交方針、また、「自由で開かれたインド太平洋戦略」の下、世界の平和と安定のために尽力しています。

●日越間においては、海洋安全保障、医療・衛生、防衛装備、PKO及びIT・サイバーセキュリティといった分野に重点を置きつつ、防衛協力を強化しています。また、人道的観点から、長年にわたり、地雷・不発弾処理に取り組んでいるほか、ダイオキシン被害者支援にも取り組んでいます。ダイオキシン除去については、現在、日本として何ができるか検討しています。

●今年5月、派遣海賊対処行動航空隊（海自P-3C）が日本への帰国途上、ダナン空港に立ち寄りました。また、パシフィック・パートナーシップ2018の下、海上自衛隊輸送艦「おおすみ」がカムラン国際港に寄港しました。また、9月下旬～10月上旬にかけて、ベトナム人民海軍艦艇が日本（横須賀港と堺港）に寄港する予定である旨、承知しています。日本としては、こうした航空機・艦艇の相互訪問を通じ、今後とも親善訓練・交流を積み重ねていきたい考えです。

●また、防衛大学校などの日本の教育機関で、毎年多くの優秀なベトナム軍将校が学んでおられます。本日のレセプションに、その留学生の一部が出席されていますが、彼等が日本での経験を活かし、ベトナムの将来のために、大きく貢献されることを心より期待します。

●本日は防衛企業の方々（NEC、富士通、三菱電機、川崎重工、IHI）にご協力いただき、ブース展示をしておりますので、ぜひご覧下さい。また、会場内に、美味しい日本酒を準備しております。皆様、是非ご賞味下さい。

●最後に、皆様の御健勝、アジア太平洋地域の平和と繁栄を祈念して、皆様と乾杯したいと思います。御唱和ください、乾杯！（了）